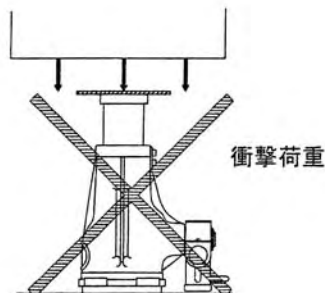
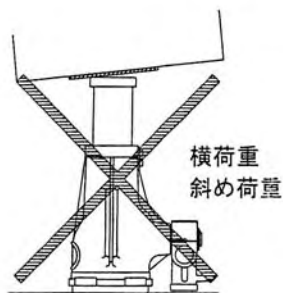
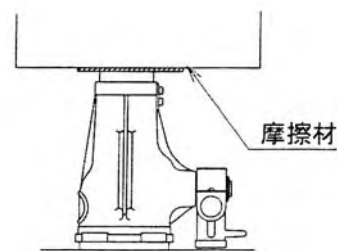
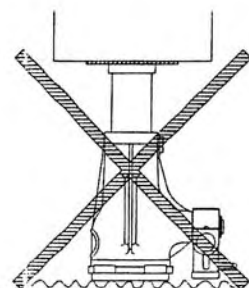
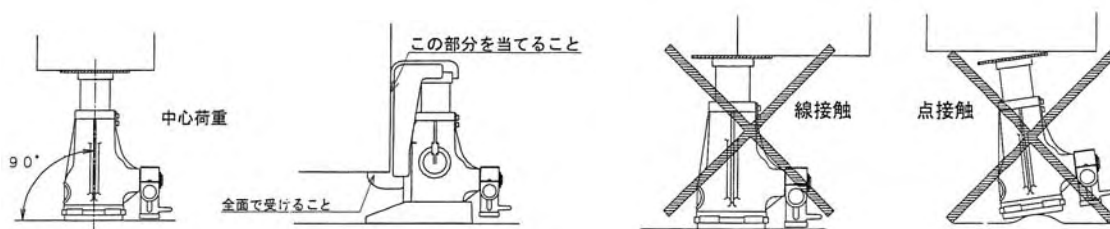
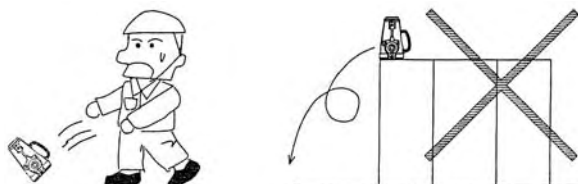
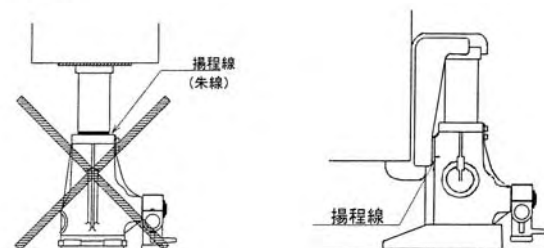
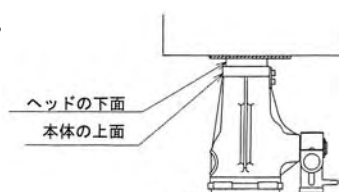
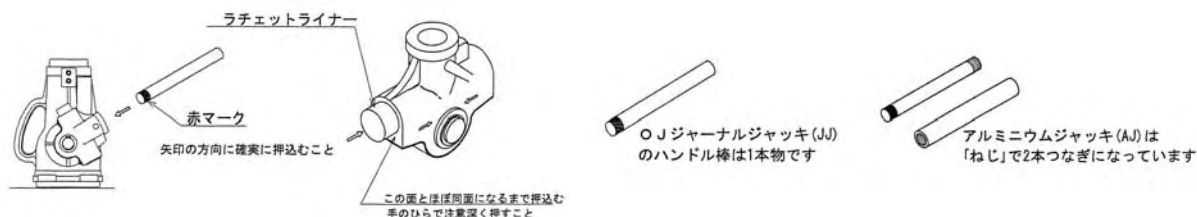
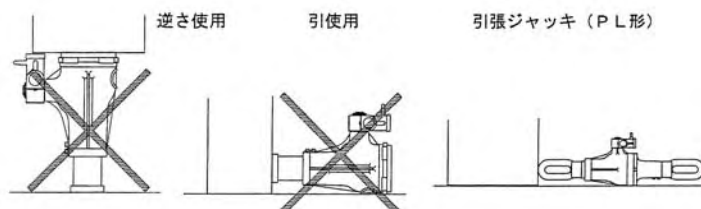
手動ジャッキ　目次

安全にご使用願うために

使用上について（注意・警告）

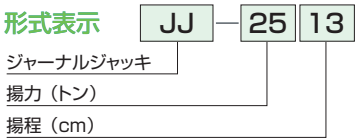
製品を実際に取り扱う場合は必ず当該製品の取扱説明書をお読みになり、十分理解してから製品を取り扱って下さい。
注意銘板又は警告銘板に注意し安全にご使用下さい。

① ジャッキ揚力を超えた荷重を負荷させないで下さい。
② ジャッキは堅固な基台に設置し、倒れないよう適切に支持して下さい。
③ ジャッキの荷重受部及びジャッキベースには滑らないように、摩擦材（板）を挟んでください。
④ ジャッキを操作しない時は、ハンドル棒を抜き、安全な場所に置いてください。
高所での作業時はハンドル棒を落下させないよう注意して下さい。
⑤ 損傷したジャッキや、改造及び整備不良のジャッキは使用しないで下さい。
⑥ ジャッキに斜め荷重や衝撃荷重を負荷させないで下さい。静的な垂直荷重のみとし、
風や外力、横荷重がかからないようにして下さい。

⑦ ジャッキは平坦で負荷に耐える地盤（コンクリート）又は、基台（木材又は鋼製）に設置して
振動や揺れのある所に設置しないで下さい。

⑧　荷重中心部で垂直に、かつ前面で荷重を受けて下さい。
線接触、点接触や不安定な状態で荷重を受けるのは危険であるほかジャッキの故障につながります。

⑨　ジャッキは放り投げたり、落としたりしないで下さい。特にアルミニウムジャッキ（AJ）は注意して下さい。

⑩　ジャッキのラム揚程線（朱線）を超えて操作しないで下さい。
無理に操作すると「ねじ」が固定（ロック）しジャッキが動かなくなります。

⑪　ジャッキヘッドの下面が本体に当たればそれ以上降下操作はしないで下さい。
無理に操作すると「ネジ」が固定（ロック）しジャッキ故障の原因となります。

⑫　付属（指定）のハンドル棒を使用し、ラチェットハンドルの穴底まで確実に差し込んで下さい。
ハンドル棒の赤マークが見えなくなるまで完全に差し込むこと。また、ラチェットライナーを確実に押し込むこと。

⑬　逆さ使用や引き使用はしないで下さい。引張使用のときは引張ジャッキ（PL形）を用いて下さい。

⑭　操作者は安全な位置で操作して下さい。持ち上げた荷重には確実なサポートを挿入し、安全が確保されるまでは、
その荷重の下に入らないで下さい。

3.保守、保管上の注意

●製品は断りなく分解、組み直しをしないで下さい。定められた性能を発揮できず、故障や事故の原因になります。やむを得ず分解、組み直しをする場合は専門知識のある方が行って下さい。
●製品を運搬、保管する場合は周囲温度、湿度など環境条件に注意し、防塵、防錆を保って下さい。

ジャーナルジャッキ

形式表示 JJ－25 13

- JJ：ジャーナルジャッキ
- 25：揚力（トン）
- 13：揚程（cm）

ジャーナルジャッキは全体が丈夫で耐久力にすぐれたスクリュ式ジャッキです。

高揚程　低揚程　中揚程

特　長

●鍛造歯車を使っていますので強力かつ噛み合いはすぐれています。
●ラチェットハンドルはホイールとプランジャの噛み合いがくさびの原理により、確実で耐久力に優れています。

用　途

●ジャッキアップ、ジャッキダウン（重量物の昇降）用
●重量物の位置決め用　●橋梁工事用　●造船工事及び補修
●土木及び建築工事用　●重量物の支持用

送り台付ジャーナルジャッキ（送り台を使用する場合）

100トンを除くジャーナルジャッキ全機種は送り台にはめ込みできる構造になっていますので、送り台付ジャーナルジャッキとして使用できます。送り長さは300mmと450mmの2種類があります。各機種に使用できる送り台（オプション）は下表の通りです。ご注文時指定下さい。送り台の使用はP.152を参照下さい。
＊送り台付ジャッキは荷重をかけたままで横移動させる時に使用します。
＊使用グリースはダフニーエポネックスEPNO.1または相当品をご使用下さい。

送り台付ジャーナルジャッキ

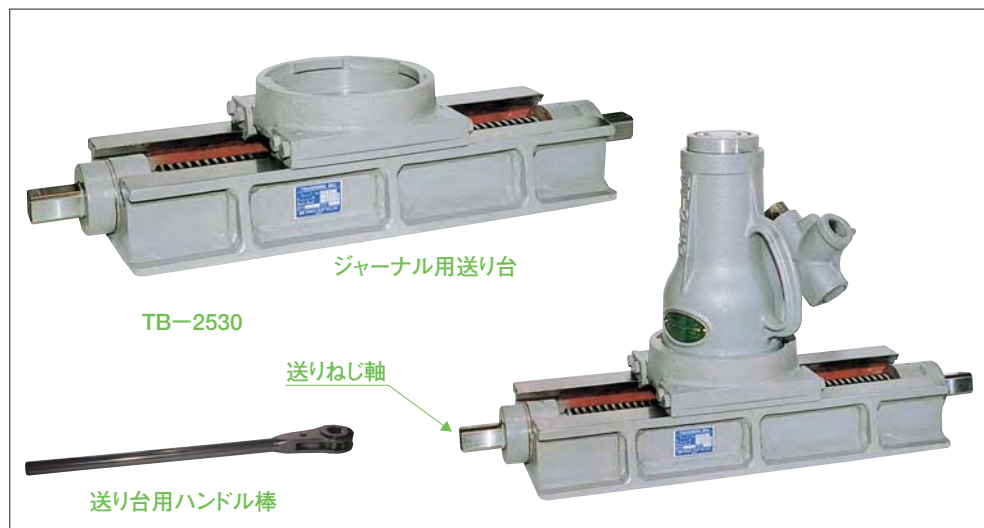
1000kNジャーナルジャッキ

ウォームギヤタイプになっています。

仕　様

項目 ＼ 形式	単位	低揚程					中揚程					高揚程		
		JJ-1513	JJ-2513	JJ-3513	JJ-5013	JJ-10011	JJ-1015	JJ-2525	JJ-3020	JJ-3525	JJ-5025	JJ-2533	JJ-3535	JJ-5035
揚力	kN(tf)	150(15)	250(25)	350(35)	500(50)	1000(100)	100(10)	250(25)	300(30)	350(35)	500(50)	250(25)	350(35)	500(50)
揚程	mm	125	125	130	130	105	150	250	200	250	250	330	350	350
最低高さ（A）	mm	255	255	280	290	310	280	395	350	410	445	485	535	555
ヘッド径（φB）	mm	63	77	87	105	127	65	77	95	87	105	77	87	105
ベース径（φC）	mm	113	127	147	166	235	108	127	148	147	166	127	147	166
質量約	kg	12	16	24	31	75	12	21	26	32	42	25	37	47
操作トルク	N·m	420	700	1000	1400	1000	250	700	850	1000	1400	700	1000	1400
付属品ハンドル棒		φ25×600L	φ25×700L	φ32×700L	φ32×800L	φ32×1500L	φ25×600L	φ25×700L	φ25×700L	φ32×700L	φ32×800L	φ25×700L	φ32×700L	φ32×800L
送り台（オプション） 形式		TB-1530	TB-2530 TB-2545	TB-3530 TB-3545	TB-5030 TB-5045	—	TB-1030	TB-2530 TB-2545	TB-3530 TB-3545	TB-3530 TB-3545	TB-5030 TB-5045	TB-2530 TB-2545	TB-3530 TB-3545	TB-5030 TB-5045
送り台（オプション） 送り長さ	mm	300	300 450	300 450	300 450	—	300	300 450	300 450	300 450	300 450	300 450	300 450	300 450

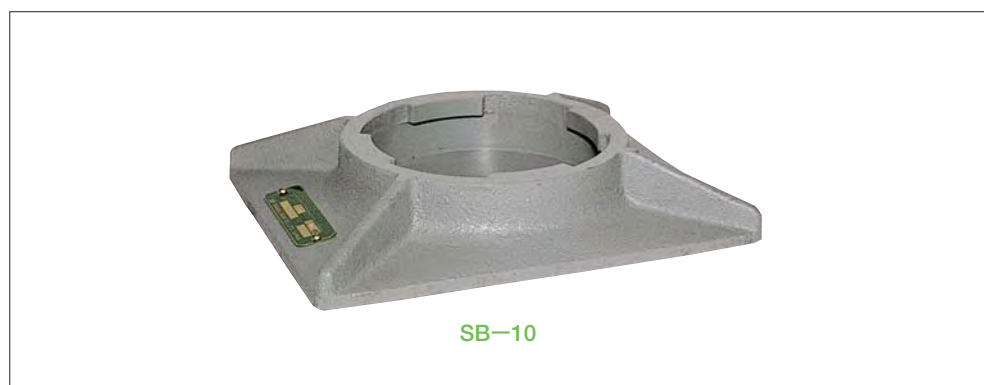
ジャーナルジャッキ

送り台

特　長

送り台はジャッキに荷重をかけたままで横移動させる時に使用します。送りねじに直接負荷が影響しない構造になっておりますので横移動がスムーズにできます。移動時は荷重の転倒に十分注意して操作して下さい。
ただし、100トンジャーナルジャッキ、アルミニウムジャッキ（AJ）、爪付ジャーナルジャッキ（NJ）には使用できません。

仕　様

項目 ＼ 形式	単位	TB−1030	TB−1530	TB−2530	TB−2545	TB−3530	TB−3545	TB−5030	TB−5045
容　量	kN(tf)	100(10)	150(15)	250(25)	250(25)	350(35)	350(35)	500(50)	500(50)
台の高さ	mm	85	85	90	90	97	97	108	128
送り長さ	mm	300	300	300	450	300	450	300	450
質量約	kg	20	20	25	31	33	38	43	66
付属品ハンドル棒		φ24×535L	φ24×535L	φ30×600L	φ30×600L	φ30×600L	φ30×600L	φ30×600L	φ30×600L

安全台

SB−10

特　長

ジャッキの設置基盤が弱い場合や不安定な場合、ジャッキの安定をよくするために使用します。
安全台はジャーナルジャッキ（JJ）が取り付けられるよう、はめ込みの構造になっています。
ジャッキの設置地盤が弱い場合にはぜひ安全台をご使用下さい。
ただし、100トンジャーナルジャッキ、アルミニウムジャッキ（AJ）、爪付ジャーナルジャッキ（NJ）には使用できません。

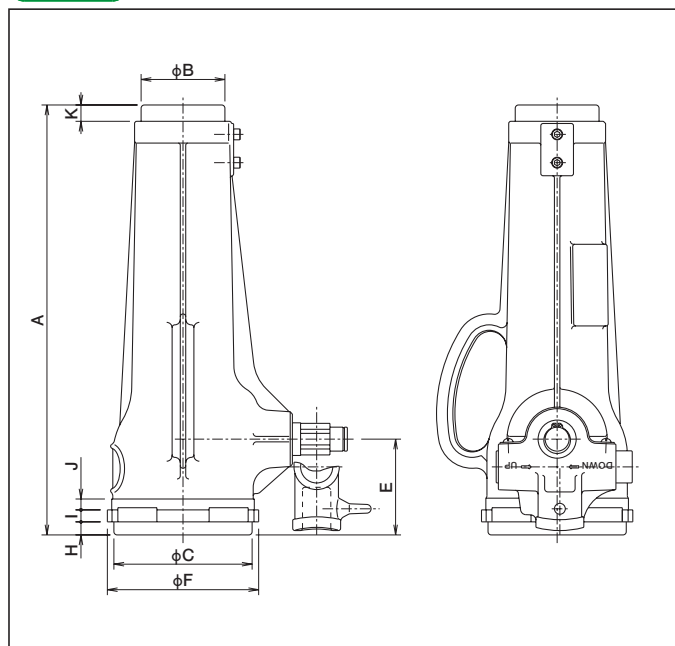
仕　様

項目 ＼ 形式		単位	SB−10	SB−15	SB−25	SB−30	SB−35	SB−50
容　量		kN(tf)	100(10)	150(15)	250(25)	300(30)	350(35)	500(50)
ベースの寸法	長さ	mm	220	240	300	300	300	400
	幅	mm	180	190	200	220	220	300
	厚み	mm	10	12	15	18	18	19
質量約		kg	2.0	5.0	7.5	9.5	9.5	20.0

手動ジャッキ

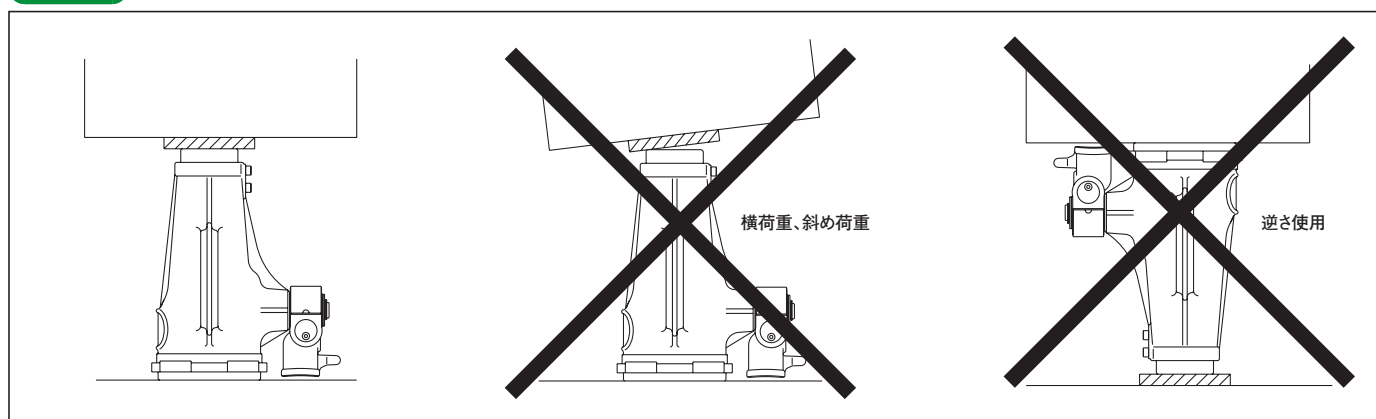
ジャーナルジャッキ（送り台・安全台）

ジャーナルジャッキ

寸法図

寸法表

（単位:mm）

	形式	E	F	H	I	J	K
低揚程	JJ−1513	77	127	9	10	10	15
	JJ−2513	88	139	12	11	10	15
	JJ−3513	103	161	12	12	15	18
	JJ−5013	106.5	183	14	15	16	18
中揚程	JJ−1015	75.7	120	8	11	10	15
	JJ−2525	88	139	12	11	10	15
	JJ−3020	99	161	12	12	10	15
	JJ−3525	103	161	12	12	15	18
	JJ−5025	106.5	183	14	15	16	18
高揚程	JJ−2533	88	139	12	11	10	15
	JJ−3535	103	161	12	12	15	18
	JJ−5035	106.5	183	14	15	16	18

使用法

※引使用や逆さ使用は出来ません。

2）ハンドル棒を差し込む
3）UP
4）DN又は DOWN

操作方法

1）荷重受部中心に垂直、かつ全面で荷重を受けるように設置して下さい。

2）ハンドル棒はラチェットハンドルの穴底まで確実に差込みます。不完全の場合は操作時滑り抜けますので必ず確認をして下さい。

3）ジャッキを上昇させるときは、ラチェットハンドルのライナーを矢印「UP」の方向へ確実に押込みハンドル棒を上下に廻動操作します。

4）ジャッキを下降させる時はライナーを矢印「DOWNまたはDN」の方向へ確実に押込み注意深く（ゆっくり）ハンドル棒を上下に廻動操作します。

5）ジャッキの上下作動時は常に被扛上物の安定に注意をして操作して下さい。

アルミニウムジャッキ

形式表示 AJ — 10 08
アルミニウムジャッキ
揚力（トン）
揚程（cm）

本体がアルミニウム製の軽量ジャッキです。

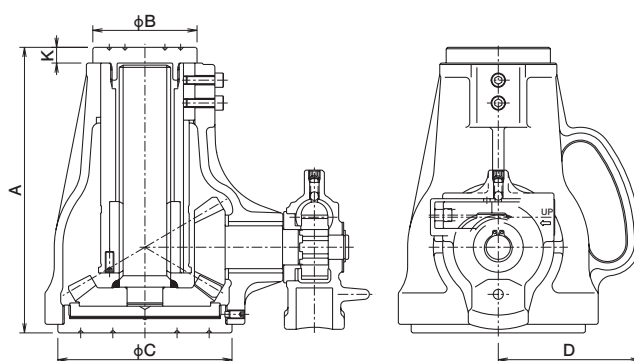
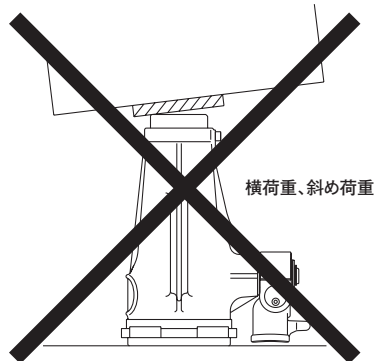
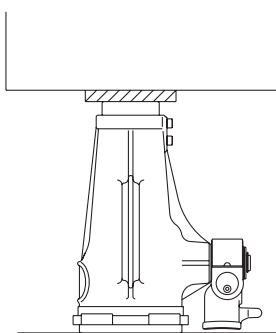
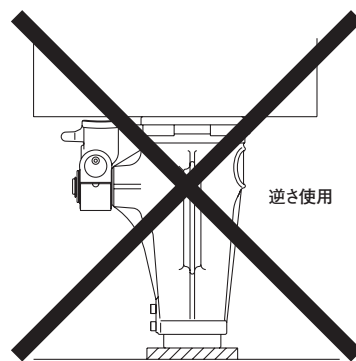
使用に当たっては乱暴な取扱いを避け、細緻な取扱いをして下さい。

特 長

●ベアリングの代わりに新素材低摩性パッドを使用しています。
●小形軽量で全高も低くなりました。
●ハンドル棒は2本に分割してあり、接続して使用します。

用 途

●機械工作芯出し用　●精密機械移動用　●建築・高所作業用
●重機械微移動用

使用法

※引使用や逆さ使用は出来ません。

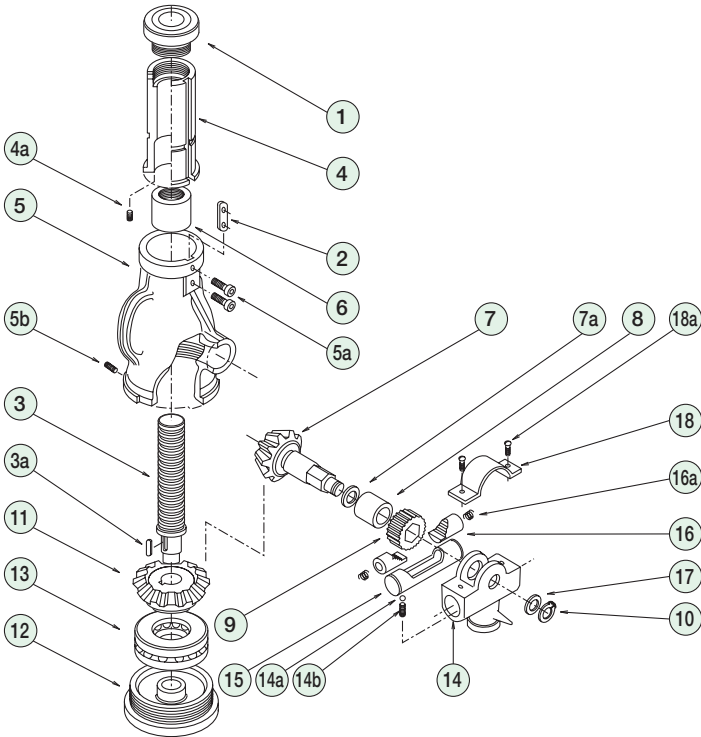
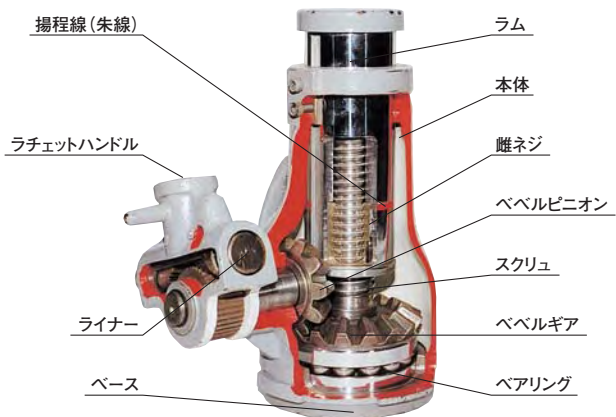
仕 様

項目 ＼ 形式 / 単位		AJ−1008	AJ−1510	AJ−2510
揚力	kN(tf)	100(10)	150(15)	250(25)
揚程	mm	80	100	100
操作トルク	N･m	250	420	700
最低高さ(A)	mm	175	200	200
ヘッド径(φB)(キャップ)	mm	58	58	73
ベース径(φC)	mm	102	102	122
D	mm	88	89	100
K	mm	10	10	11
質量約	kg	6.1	6.8	9.5
付属品ハンドル棒		φ27.2×575L	φ27.2×575L	φ30×675L

注）・使用グリースはダフニーエポネックスEP NO.1または相等品をご使用下さい。
・このジャッキは安全台や送り台に取り付けることができません。

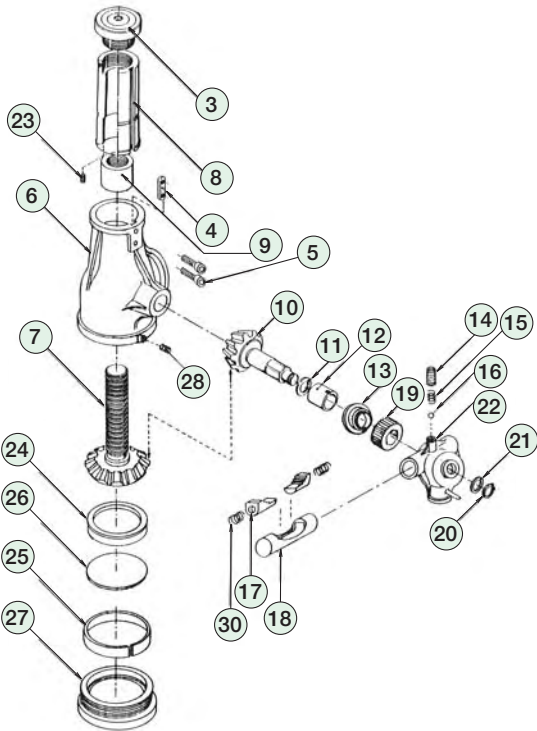
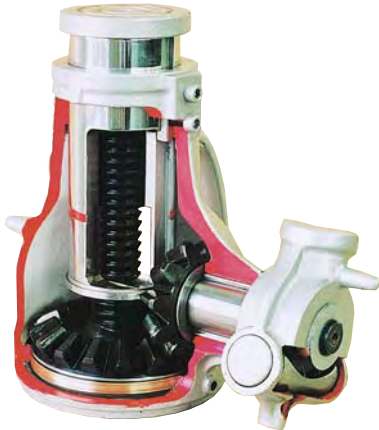
JJ・AJ 各部名称と構成部品

OJジャーナルジャッキJJ形（100～500kN）

揚程線（朱線）
ラム
本体
ラチェットハンドル
雌ネジ
ベベルピニオン
スクリュ
ライナー
ベベルギア
ベース
ベアリング

部品表

No.	部品名	数	備考	No.	部品名	数	備考
1	ヘッド	1		11	ベベルギア	1	
2	キー	1	ラム用	12	ベース	1	
3	スクリュ	1		13	ベアリング	1	
3a	キー　※	1	スクリュ用	14	ラチェットケース	1	
4	ラム	1		14a	スチールボール	1	
4a	ノック	2	雌ネジ用	14b	スプリング	1	
5	本体	1		15	ライナー	1	
5a	キーボルト	2		16	プランジャ	2	
5b	ノック	1	ベース用	16a	スプリング	2	
6	雌ネジ	1		17	ワッシャ	1	
7	ベベルピニオン	1		18	カバー	1	
7a	ピニオンワッシャ	1		18a	ビス	2	
8	ピニオンブッシュ	1					
9	ラチェットホイル	1					
10	止メ輪	1	JIS				

※500kNのみキー（3a）は2個

アルミニウムジャッキAJ形

部品表

No.	部品名	数	No.	部品名	数
3	ヘッド	1	17	プランジャ	2
4	キー	1	18	ライナー	1
5	六角穴付ボルト	2	19	ホイル	1
6	本体	1	20	止メ輪	1
7	ギヤ付スクリュ	1	21	ワッシャ	1
8	ラム	1	22	ラチェットケース	1
9	メネジ	1	23	六角穴付ネジ	2
10	ピニオンギア	1	24	スペーサ	1
11	クリヤワッシャ	1	25	ブッシュ	1
12	ピニオンブッシュ	1	26	パッド	1
13	キャップ	1	27	ベース	1
14	六角穴付止ネジ	1	28	ベースノック用六角穴付止ネジ	1
15	スプリング	1	30	スプリング	2
16	スチールボール	1			